

親子で体験♪夏休みだよ♪
少林寺拳法教室

日時 7月24日～8月21日の日曜日（5回）
午前10時～正午
会場 永山体育館2階フロア
対象 小学生以上の市内在住・在勤・在学者
指導 青梅少林寺拳法連盟指導員
定員 先着30人（予約制）
服装・持ち物 運動のできる服装、
タオル、飲み物
その他 親子参加、60歳以上の方、
子どものみの参加歓迎
申し込み 電話でスポーツ推進課へ



第14回炭焼き体験と水辺の交流会

日時 8月23日（火） 午前9時～午後1時
※小雨決行、荒天中止
会場 奥多摩フィッシングセンター（御岳2-333）
対象 市内在住の小・中学生
※親子での参加歓迎
内容 花炭焼き、魚のつかみどり、ライフジャケット浮力体験など
講師 DAIGOエコロジー村村長 川口武文氏、ふれあい移動水族館館長 山崎 愛柚香氏
定員 先着40人（予約制）
費用 一人500円（魚代、保険代等）
服装・持ち物 帽子、タオル、水筒、着替え（水に入って濡れてもよい服装）、履き替え用の靴（足をしっかり保護するもの）
共催 おうめ水辺の楽校運営協議会、美しい多摩川フォーラム
※「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」助成事業
協力 奥多摩漁業協同組合
申し込み 住所、氏名、年齢、保護者氏名（一緒に参加の場合は年齢）、日中連絡可能な電話番号を電子メール☒forum@tama-river.jpまたは電話☎24-5632（祝日を除く月～金曜日の午前9時～午後5時）で美しい多摩川フォーラム事務局（青梅信用金庫内）へ
問い合わせ 同事務局、市環境政策課



ワクワク！ドキドキ！水辺の探検隊
～達人と一緒に楽しく安全な川遊び教室～

日時 8月27日（土） 午前9時15分～午後1時
（8時45分受付開始）
※小雨決行、荒天時9月3日に順延
会場 市民球技場近くの川原（市民球技場管理棟前川原集合）
対象 市内在住の小学生（保護者同伴）
内容 川での安全な遊び方、ヤマメ・ニジマスをつかみ取りして自分で焼くなど
講師 ふれあい移動水族館館長 山崎愛柚香氏
定員 先着20組（予約制）
費用 子ども1人500円（保険代等）
申し込み 7月26日までに
服装・持ち物 濡れてもいい服・靴（靴は履き替えの分も含め、足をしっかりと保護するもの。保護者も含めサンダル類は禁止）、帽子、タオル、着替え、昼食（必要な方）、水筒、ライフジャケット（お持ちの方のみ名入れして持参）
共催 おうめ水辺の楽校運営協議会、青梅・多摩川水辺のフォーラム
※「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」助成事業
申し込み 7月26日までに
住所、氏名、保護者氏名、電話番号、学校名、学年、順延した場合の参加の可否を電子メール☒tama31@city.ome.tokyo.jpで環境政策課管理係へ
※メールが使えない場合、電話も可
※7月27日までに参加可否の返信をします。
その他 同フォーラムでは、行事に協力してくださる成人のボランティアを募集しています。
詳細は、丸山 ☎090-1403-5190へ



第63回市民体育大会
（バドミントン・空手道）参加者募集

バドミントン

日時 9月11日（日） 午前9時30分競技開始（9時受付開始）
※開始時間については市バドミントン協会ホームページ（2次元コード）を確認
会場 住友金属鉦山アリーナ 青梅
対象 市内在住・在勤・在学者
種目 男子：一般（1～3部、50歳以上の部）、中学生の部、小学生低学年（1～3年の部、高学年（4～6年）の部）
女子：一般（1～4部、50歳以上の部）、中学生の部、小学生低学年（1～3年の部、高学年（4～6年）の部）
競技方法 ダブルスまたはトリプルス（小学生はシングルス）によるリーグ戦、トーナメント戦
費用 一般500円、中学生200円、女子トリプルス1チーム600円、小学生無料
詳細 同協会 坂田 ☎23-7815
申し込み 8月15日までに住友金属鉦山アリーナ 青梅、各市民センターで配布する申込用紙に必要事項を記入して直接提出

空手道

日時 10月23日（日） 午前9時30分競技開始（9時受付開始）
会場 住友金属鉦山アリーナ 青梅
対象 市内在住・在勤・在学者
種目 形競技と組手競技を学年別に行う▽幼児▽小学生：1・2年、3・4年（男子・女子）、5・6年（男子・女子）▽中学生（男子・女子）▽高校生（男子）▽一般女子（有級・有段）※高校生含む▽一般男子（有級・有段）
費用無料
詳細 市空手道連盟 笠原 ☎090-24781954
申し込み 8月10日までに直接住友金属鉦山アリーナ 青梅窓口へ

都指定無形民俗文化財を見に行きませんか

開始時間が前後する可能性がありますのでご注意ください。
◎青梅のフセギのワラジ（岩蔵）
日時 7月24日（日） 午後1時～3時ごろ…ワラジ作り
会場 岩蔵御嶽神社神楽殿（小曾木）
※ワラジ作り後、小布市との境、富岡との境に各2か所、古武士との境、成木の中里との境に各1か所の計6か所にひとつずつ吊るします。
◎青梅のフセギのワラジ（谷野）
▷ワラジ作り
日時 7月24日（日） 午前10時～正午ごろ
会場 谷野自治会館
▷ワラジ飾り付け（辻立）
日時 8月7日（日） 午前10時30分～正午ごろ
会場 十王堂、塩船との境、大門との境、今寺との境、小曾木との境に各1か所、木野下との境に2か所の計7か所
◎武蔵御嶽神社太々神楽（夜神楽）
日時 7月24日（日） 午後8時から
※11月まで毎月第4日曜日に開催
会場 武蔵御嶽神社神楽殿（御岳山）
※詳細は武蔵御嶽神社 ☎78-8500へご連絡ください。
問い合わせ 郷土博物館 ☎23-6859

青梅市の文化遺産67
高田浪吉と青梅

市文化財保護指導員 東山啓子

高田浪吉は、明治31（1898）年、東京本所（現在の墨田区）の下駄塗職人の家に生まれ、小学校卒業後、家業を手伝いながら、職業歌人の松倉米吉を知り、歌を作り始め、その縁で大正5（1916）年「アララギ」に入会。島木赤彦に師事、大正時代のアララギを代表する歌人の一人として成長していきましました。
戦時中、家族だけ滝ノ上に疎開させ、仕事をしながら渋谷等との二重生活を送っていました。その後、青梅の人々との交流も深まり、御岳山などで句会を開くようになり、昭和20（1945）年5月の空襲で被災し、青梅に生活の拠点を移しました。
昭和24（1949）年には、青梅短歌会メンバーの協力のもと歌誌「川波」を刊行しました。昭和26（1951）年、青梅市が誕生した際には祝歌を寄せ、これを機に青梅での作歌指導等の活動を広げていくことになり、翌27年には、青梅市立調布中学校（現在の第二中学校）の校歌を作詞しました。
昭和29（1954）年、梅園（裏宿）市営住宅に転居し、昭和37（1962）年9月に64歳で永眠しました。
翌38年9月、永山公園内に「たくなつく山見よ姿しつまりて 町はうるほふ 青梅やまかひ浪吉」の歌碑が、関係者によって建立されました。一度訪れてはいかがでしょうか。
問い合わせ 郷土博物館 ☎23-6859



▷高田浪吉歌碑